



塾は成績をただ上げるための場所ではない 立派な講師になれるよう精一杯精進していきます。

みなさんこんにちは！この度、4月から開智総合学院で働かせていただく岩崎正樹です！主に諸口教室と今津教室を担当しています。中学3年生の時にこの塾に生徒として入り、再び先生として、大学生になってからずっと働かせていただいていた。得意な教科は数学です！もし勉強でわからないことがあったらどんどん聞いてください！

僕は中学生の時はラグビー部に所属しており、高校生の時は陸上競技部に所属しておりました。大学では特に何も所属はしていませんが、その時から趣味で1年に1回マラソンに出たり、週に2回筋トレを行ったりしています。

僕の「座右の銘」は、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」です。これは、アメリカの心理学者、ウィリアム・ジェームス氏の名言です。結構有名なので聞いた

ことがある人もいますかと思えます。

僕は昔から勉強が非常に苦手で、好きな数学以外はやらない、やりたくないと思っていた生徒でした。それは塾の生徒になってからも同じで、そのせいで残念ながら行きたい高校へは行くことができませんでした。ですが、その頃にこの言葉と出会い、過ちに気づき僕は変わることができました。高校に入ってからは心機一転、苦手な数学以外の科目も勉強し、少しずつ勉強時間を伸ばしました。大学受験の時も、自分は勉強が苦手である、自分は決して賢くない、と自分に言い聞かせ、高校2年生の夏ごろから受験勉強を始めました。その頃はすでに1日2時間ではありませんが、いろいろな科目の勉強をするという習慣がありました。そして、部活動を引退した3年時からは、1日最低10時間を当たり前のように勉強する習慣になっていました。そして最終的には自分の行きたい大学に行くことができました。

僕が高校生の時にした勉強法というのは、自分で考えたやり方でもないし、ネットで知ったやり方でもありません。中学生時代に開智の先生から

教わった方法を思い出して、ただ実践してやっただけです。9時間自習があったおかげで、10時間以上勉強しても疲れることなく勉強することができましたし、自分は落ちたという経験があり、その時、開智の先生が再び奮起を促してくださったという経験があるからこそ、大学受験でも折れずに最後まで戦うことができたのだと思います。

僕がこの塾で得たものというのは、「塾は成績をただ上げるための場所ではない」ということです。先生の熱意や言葉に重みがあるからこそ、生徒としての関係が終わった大学受験の時も、最後の最後まで支えになってくれました。僕はそこに憧れを持ち、自分もそういう立場になり、導いていきたいと思ったのでここで働かせていただくことになりました。

僕はまだまだ受験に対して分からない事が多く、頼りにならないかもしれませんが、これから一生懸命努力をして、立派な講師になれるよう精いっぱい精進していき、また生徒達と共に成長していきたいと思っております。これからよろしくお祈りします！！

このちりとてちんに出てくる落語は主に上方落語と呼ばれ、関西を中心としたお話を主に扱っています。「鴻池の犬」「愛宕山」「高津の富」など、地名が入った題目が多数あります。中でも私のお気に入りには「崇徳院」です。

「崇徳院」と聞いてピンとくる方はかなりの国語または歴史通ですね!!

西暦1156年に起こった保元の乱で後白河天皇に敗れ、現在の香川県に流された崇徳天皇のことです。百人一首でも「瀬を早み 岩にせかる 滝川の われても末に あはむとぞ思ふ」と詠んだ文才のある天皇です。この歌が主となって、大阪の高津宮を訪れた商家のご令息がそこで出会った綺麗な女性に一目惚れし、恋煩いをしてしまうお話です。

このように、落語には地名や歴史、その土地の風土、文化など学べる教養がたくさんあります。

時代が変わり、建物や雰囲気が変わってしまったところもありますが、大阪の名所も落語の舞台として出てきますので、コロナが落ち着けば現地に出かけてみるのも一考かと思えます。

また落語の魅力としては、扇子・手拭いのみで多数の人物を一人の落語家が演じることにあります。

さきほど崇徳院で紹介した綺麗な女性、皆さんはどんな人と想像しましたか？浜辺美波や新垣結衣などの芸能人を想像した人もいるでしょうし、身近な人を想像した人もいるでしょう。(中には自分の好きな人を想像した人もいないのでは!?)

落語はその落語家を通じて色々な人、様々な場面を想像させてくれます。スマホが普及し、何を調べるにもすぐに映像化されたものが見ることができるよう、想像する力が必要ではないかと、最近教えていて痛感するところです。算数や数学の文章題を苦手とする子が多いのもこういった想像ができていないのかもわかりません。

是非とも勉強の骨休めや気分転換に想像力を高める「落語」を聞いてみてください。

伊藤のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 万緑会・今福教室 伊藤 嘉章

落語のすすめ

はなく、視聴率もそこまで良くなかった「ちりとてちん」というNHKの朝ドラです。

脚本はこれも視聴率の良くなかった「平清盛」を書いた藤本有紀さんです。

この方の書かれる物語はすべてが全てスーパーヒーローやスーパーヒロインのような人間を中心にしているのではなく、なにをやってもダメな子や自分探しをしてまだ何も達成していない人にスポットライトを当て、どのように主人公が成長していくか、細部にわたるまで作りこみ、演出し、最終話までにすべてを回収していくストーリーとなっています。

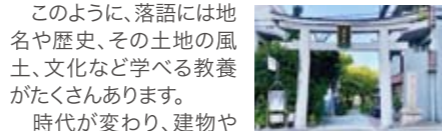
ちりとてちんの主人公もマイナス思考強めな和田喜代美が、学生時代のクラスのマドンナである同姓同名の和田清海に引け目を感じ、クラスメイトが間違えないようにとB子(ランクのAとBで悪い方という意味)のあだ名をつけられ、高校卒業まで鬱屈した生活を続けていきます。そんな喜代美はこの状況を変えたいとして、心機一転大阪へ出ていきます。そこで偶然知り合った落語家「徒然亭草若」と出会い、落語を通じて成長していくのが、この「ちりとてちん」というドラマです。DVDもありますので、もしご興味あれば是非見てください。

私も公立高校の受験発表の日はある高校に行っており、生徒の皆さんが合格発表を見て、喜んで悲しんだりするのを間近で見ることができました。とくに受験生の女の子が家族に囲まれながら泣きながら帰っていくのを目の当たりにしたのが非常に印象的でした。

人生の節目節目で良いこと・悪いこと悲喜こももどかと思えます。大事なのはここでそのことを引きずって浮かれたり、沈んだりしたまま日々を無駄に過ごさないようにすることです。

そこで、気分転換のためにも、「笑いの町、大阪」に根ざした古典芸能「落語」をご紹介します。私が落語にハマったのはドラマの影響です。マンガ「昭和元禄落語心中」や先日解散が発表されましたV6の岡田君が出ている「タイガー&ドラゴン」で

▲人間国宝落語家「桂米朝」



▲高津宮



ようこそのお運びで厚く御礼申し上げます。

ときどき、落語家さんのあいさつで始まりましたが、皆様がかがお過ごしでしょうか。

このグローイングが掲載される頃にはカイチに通われている生徒や親御さんも新たな生活が始まっている頃でしょうか。

先月の3月には、大学受験の発表・小学校や中学校への入学準備、そして、公立高校の受験等で忙しくされていたことと思えます。

合格された皆様おめでとうございます。残念ながら合格できなかった皆様、まだまだ人生において挽回のチャンスがこれから先たくさんありますので、頑張ってください。

私も公立高校の受験発表の日はある高校に行っており、生徒の皆さんが合格発表を見て、喜んで悲しんだりするのを間近で見ることができました。とくに受験生の女の子が家族に囲まれながら泣きながら帰っていくのを目の当たりにしたのが非常に印象的でした。

人生の節目節目で良いこと・悪いこと悲喜こももどかと思えます。大事なのはここでそのことを引きずって浮かれたり、沈んだりしたまま日々を無駄に過ごさないようにすることです。

そこで、気分転換のためにも、「笑いの町、大阪」に根ざした古典芸能「落語」をご紹介します。私が落語にハマったのはドラマの影響です。マンガ「昭和元禄落語心中」や先日解散が発表されましたV6の岡田君が出ている「タイガー&ドラゴン」で

▲人間国宝落語家「桂米朝」

カイチからのお知らせ

■4月9日(金)～4月28日(水)で中学英検講座を実施します。■中学中間テスト模試を4月19日(月)～4月24日(土)に実施します。■小学診断テストを4月27日(火)・28日(水)に実施します。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

受験生そして、ご家族の皆さん 本当にお疲れ様でした。



高木 秀章 (塾長)

今年も受験が終わりました。

受験生の皆さん、そしてご家族の皆様、本当にお疲れ様でした。

カイチでは現在、小学受験、高校受験、大学受験の指導に取り組んでいます。詳細の受験結果は挟み込み資料でまとめさせていただきました。

小学受験の万緑会では今年度、教育大天王寺・平野・城星・関大付属・近大付属など難関国立・私立小学校に合格者を出すことができました。今年度は教育大天王寺の受験では、タブレットを親子で使う場面や、面接で天王寺のホームページについての質問、保護者記述アンケートの分量が3倍になるなど、ネット時代のリテラシーに対応する新しい入試傾向だったようです。

高校受験は、私立に178名が受験、内合格者が175名(合格率98.3%内特待生27名)、公立受験者が116名で合格者は86名(合格率74.1%)。文理学科合格者は19名という結果でした。コロナの影響か入試問題全体が易化し、内申点や英検2級取得生の優位性が高まりました。当日のテストにおいて、点数が取れる教科や単元でミスしないことが合否を分けた印象です。

大学受験のエニグマとカイチ予備校は開校3年目、つまり高校1年生から指導した生徒達が初めて受験を行う、真価が問われる受験でしたが、エニグマでは京都大学、大阪大学、早稲田、同志社に合格、カイチ予備校では大阪市立大・府大・京都教育大など国立5名、関学・関大、産近甲龍などにも多数の合格者を出すことができ、高1から取り組む重要性を改めて痛感しました。

今年の受験生達はコロナという前代未聞の環境の中、本当に良く頑張りました。特に、1学期の学校休校は、生徒達の精神面と受験勉強の遅れに大きな影響を与えました。

高校受験の中3生は、夏期講習明けの模試でも成績が上がり切らず、9月からの文理学科講座、受験対策講座では、生徒達の仕上がり悪さが何度も議題に挙がりました。ただ素晴らしいのは、生徒達のモチベーションが高かったこと。会議の中でも、先生達から何度も「点数は伸びていないが、

取り組みが良い」との話が出て、最終1月の模試で昨年度生の平均偏差差を超え、文理クラス生の予想テストの点数もしり上がりに伸びました。生徒達は、コロナの逆境に負けず間違いなく努力をやり抜いたと思います。

しかし、結果として、高倍率の公立高校で不本意な結果になりました。今年度の受験分析は、高木先生の記事に委ねますが、私たちには、まだまだやらなければならない課題があることを痛感しました。

今年の受験で印象的だった一場面がありました。それは小学受験で不合格になった男の子が、家族で報告に来てくれた時のことです。彼はいつも、授業中は冗談を言って元気一杯なのですが、その日はやはり少し元気がありません。ご両親が担当の山内先生とひとしきり話した後、彼はお父さんとお母さんを「ちょっと外に出て」と教室の外に出しました。そして、山内先生の耳元で「ごめんね。ダメだった」と小さな声で受験結果の報告をしました。

彼なりに現実としっかり向き合い、山内先生にきちんと報告した姿を見て、幼い彼が急に成長したように見えました。

受験には当然、合否がつきます。でもそれが、皆さんの人生の成否を決めるわけではありません。人生を決めるのは、受験を通して学んだ努力と工夫を続ける姿勢です。もし、今回の受験が失敗し、今はつらくても、それと向き合いまた前に歩みを進めてください。

先生達も、絶対に努力と工夫を諦めません。

今回の受験では、パスカルキッズからカイチ予備校まで、ずっとカイチに通ってくれた生徒が無事第一志望に合格しました。それは、「地域で幼児から大学受験までを一貫指導する」という私達の夢の第一歩でもあります。

まだまだ至らない、私どもですが、地域の皆様にご期待いただけるような塾になれるよう精進努力を続けてまいります。これからもどうかよろしくお祈りいたします。

P.S. 文中の小学受験の男の子は後日、補欠で第一志望に合格しました。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

カイチの2021年度が始動! 春期講習を活用して新学年の ロケットスタートを目指します!!

加戸 健太郎 (高殿教室・今福教室)

2020年度の大府公立高校入試が行われたのが3月10日。その翌日から開智総合学院の2021年度がスタートしました。そこで、今回は私が授業を担当している高殿教室と今福教室の新年の様子をお伝えします。

まずは、この3月で開校2年目に突入した高殿教室。カイチでは最も新しい教室ですが、おかげさまで既に100名近くの生徒が通塾しています。珠算クラスは、小学校低学年を中心に幅広い年齢層の生徒達が頑張っており、一歩一歩階段を上るように、着実に、成長を遂げています。今年の競技大会では高殿教室から一人でも多くの上位入賞者が出ることを期待しています。

また、高殿教室はキッズ部門に通う生徒も多く、連日3時50分からは教室中に明るい声が響き渡ります。休み時間に外国人の先生とトークキッズ生が英語で談笑しているシーンはもはや日常茶飯事です。

小5生と小6生が在籍している小学学習部は真面目で素直な生徒達ばかりで、高学年になってグンと難しくなる学習内容に対して真剣に取り組んでいます。春期講習期間中もフリーラーニングを活用し、自分自身の弱点分野を克服すべく、午前中から頭をフル回転させて頑張っています。



▲フリーラーニングで各自の弱点克服に取り組む小学生達

中学学習部は個別と集団の両方が開講されています。今年度からリニューアルしたカイチ個別では、カイチ卒業生の非常勤講師の先生が中心となり進めてくれています。春期講習では生徒ごとカリキュラムが作成され、各生徒が弱点補

強や新学年の先取りなどに取り組んでいました。集団クラスでは、近隣の旭陽中や蒲生中などから多くの生徒が通っており、部活と両立しながらメリハリをつけて頑張っています。中には昨年入塾以降、定期テストの5教科合計点数が100点以上アップした生徒もあり、出された宿題や診断テストに向けた勉強をきちんとやっていけば確実にレベルアップできるということを見事に体現してくれました。特に新中3生は入試まであと1年を切りました。生徒達の頑張りに応えられるよう我々も生徒達と真剣に向き合い寄り添い続けます。



▲高殿教室から今福教室への移動中に
綾江小学校の桜をパシャリ★

続いては今福教室。カイチの代名詞的存在として地域の方々にも親しまれている今福教室は、今年度も連日生徒達の活気で満ち溢れています。私が担当している小学学習部では、珠算クラスと併学している生徒も多く、普段ジュニア先生に鍛えられているおかげ(?)でいつも元気いっぱい。小6生の社会の活用授業で発表が盛り上がりすぎて、予定の半分しか進めなかったことはここだけの話です。私も生徒達のパワーに負けないように熱量を高めて頑張っていきます。

今福教室のパスカルキッズは、既に満席となっている時間枠も出てきており、例年以上の盛況となっております。その中で生徒達には能力開発教具やテキストの問題を通じて「考え抜く」ことにチャレンジし、どんどん頭を柔らかくしてもらいたいと思います。

メインの中学集団学習部は、ほぼ満員になる教室もあるため、先生達は珠算生が帰ってから

中学生が来るまでの僅かな時間で感染防止対策のパーティション設置に大忙し。部活帰りに急いで塾へやってきて、疲れた体に鞭打ちながら数学の問題演習に取り組む生徒達の姿には本当に頭が下がります。カイチは部活と塾を両立するという「覚悟」を持った生徒達をこれからも全力でサポートしていきます。



▲新中1生の授業前の一コマ。
中学校に入学しても勉強の心配なし!?

これまで誰も経験したことのない未曾有の事態に直面した昨年度でしたが、カイチでは感染拡大防止を最優先にしながらも、様々な工夫を凝らして生徒達の学びを止めない塾運営を行ってまいりました。激動の一年を乗り越えて一回り大きくなった生徒達とともに、今年もまた新たな気持ちで頑張っていきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

激動の公立入試を終えて、 来年の受験に向けて

高木 直也 (諸口教室)

今年度も高校入試全日程を終了しました。2020年度はイレギュラーの連続で受験生たちは例年にはない対応に追われ続けた1年でした。

1学期のほとんどが新型コロナウイルスの影響で学校がストップ。カイチも生徒を教室に呼ぶことが難しくなり急遽ZOOMを用いたオンラインでの双方向授業に切り替えることとなりました。慣れない環境にみな四苦八苦しながらも何とか乗り切ることができました。

休講措置が解除後は、進行の遅れを取り戻すために学校では猛烈なスピードでの授業進行。例年の部活動引退時期のずれ込みなどにより、夏、秋の受験勉強を圧迫しました。また、例年行われるはずの高校の説明会も相次いで、中止やオンライン説明会に差し替えられ、進学先の選定にも生徒達は苦慮しました。そのため秋時点での生徒の実力は前年を大きく下回る状態でした。

それでも今年度のカイチの受験生達は、そういう状況でも誰も腐らずあきらめず頑張りました。9月の文理学科講座開講当初、担当していた先生達が「これ、大丈夫なん?」と口にしてたのが、1か月後の次のタームでは「これいけるんちゃう?」と言わせるほど、秋冬での受験生の頑張りには驚きの連続でした。そして年明けの模試では昨年度に追いつくことができました。

しかし、迎えた入試では北野、茨木などトップ校の定員減などで、倍率も大きく荒れ公立高校の選定も難しい判断が迫られました。そして入試本番での傾向の変化。今年の入試はカイチに多くの課題を残してしまいました。志望校合格を勝ち取った生徒、あと一歩届かなかった生徒。今カイチにできることは今年の結果を反省し来年の受験に生かすことです。

一つ目は英語C問題への対応です。今年度の入試は全般的に易化した印象でしたが英語のC問題だけは難化。英検2級で80%(72点)が保証される今年入試は英検2級をもっていた生徒が圧倒的に有利な展開となりました。はじめて英検2級の活用が始まった平成29年度入試ではわずか全受験者で344名であったのに対し、昨年度の英検2級の活用者は1650名に達し、受験に英検を活用する生徒は年々増加をしています。

2020年大予想模試科目別対比

	内申	数学	英語	国語	理科	社会
合格者平均点	261.2	38.4	63.0	63.8	71.2	76.5
不合格者平均点	257.6	35.2	52.5	60.1	63.5	71.7
差	3.6	3.3	10.5	3.8	7.7	4.9

内申にはほぼ差はない

英検2級取得者は全員合格

勝敗のカギを握っているのは実は...

※英語は英検2級を反映させています

資料は今年2021年2月~3月に行われた公立高校合格判定模試(通称:大予想模試)全5回の平均点です。本文の入試で文理学科に合格した生徒達の平均点と、届かなかった生徒達の平均点を比較しています。

英語はやはり英検の72点の活用が大きな影響を及ぼしているのがわかります。一方、受験生が毎年躍起になって取り組む数学はほとんど差がついていません。数学は難化しても、易化しても「取れる問題を確実に取る」ことが重要です。

国語は最後の作文をしっかり書き上げられるかがポイント。最初の科目がうまくいく、行かないでそのあとの科目への取り組みも変わります。やはり英検2級は欲しい。しかし、高校卒業レベルの英検2級を突破するのはかなり至難の業。そのために早期からの英語学習は入試に有利になるのは間違いありませんが、英語の72点だけで、合格を確実にすることはできません。勝敗のカギを握るのはやはり社会と理科です。社会と理科は全校共通問題ということもあり、難易

度は国数英よりも抑えられているため、合格者平均は高いところにあります。したがって、ミスが許されない科目であります。日々の学校や塾での社会、理科への勉強の取り組みはいかがでしょうか、ケアレスミスが命取りになります。日々「解き終わったら見直し」を心がけましょう。

下は今年の合格者の一例です。理科と社会の強さが合格を勝ち取った典型です。どうしても国数英に意識がいきがちですが、例年理科と社会を仕上げている生徒は本番に逆転で合格しています。理科8割、社会9割をとれるように頑張りましょう。

2021年度も始まりました。年々大きく変化する入試に対応すべくカイチも日々分析と修正を続けています。

あと一歩というところで届かなかった生徒達、そんななかでも前を向き「大学入試では必ずリベンジします。」と力強く語る彼らの姿を胸に刻み、今年度も全力で指導していきます。一緒に頑張っていきましょう。

内申はギリギリ

国数英も苦戦しながらも

氏名	内申	回	数学	英語	国語	理科	社会	合計	総合
A	241.2	1	31	29	60	77	80	277	629.0
結果:文理学科合格		2	34	32	35	43	90	234	568.8
		3	37	42	47	75	90	291	648.6
		4	33	50	48	75	80	286	641.6
		5	28	34	50	74	84	270	619.2
	平均			32.6	37.4	48.0	68.8	84.8	271.6

本番では「鉄壁の理科・社会」で合格